

ページ	章 項	ご意見の要旨	市の考え方	修正	
表紙		・名称について、新在家・東一津屋地区住民の関心度を上げるため「鳥飼・新在家・東一津屋地区まちづくり」または、「鳥飼地区（新在家・東一津屋地区も含む）」とすべき	・本グランドデザインのP16「4 グランドデザインの対象地域」において、「対象地域」を4つの小学校区に以下のとおり町丁名を追加して記載するよう修正します。  (P16 4 グランドデザインの対象地域の文章に、下記の下線を追加します。) 今回策定するグランドデザインの対象地域は、下図赤枠部に示す4つの小学校区（鳥飼小学校区・鳥飼西小学校区・鳥飼北小学校区・鳥飼東小学校区）とします。 なお、 <u>鳥飼小学校区は、鳥飼上1丁目、鳥飼中1丁目、鳥飼下1丁目、鳥飼下2丁目、鳥飼下3丁目、鳥飼西小学校区は、鳥飼西1丁目、鳥飼西2丁目、鳥飼西3丁目、鳥飼西4丁目、鳥飼西5丁目、鳥飼野々1丁目、鳥飼八防2丁目、鳥飼和道1丁目、東一津屋、鳥飼北小学校区は、新在家1丁目、新在家2丁目、安威川南町、鳥飼八防1丁目、鳥飼本町1丁目、鳥飼本町2丁目、鳥飼本町3丁目、鳥飼本町4丁目、鳥飼本町5丁目、鳥飼野々2丁目、鳥飼野々3丁目、鳥飼東小学校区は、鳥飼上2丁目、鳥飼上3丁目、鳥飼上4丁目、鳥飼上5丁目、鳥飼銘木町、鳥飼八町1丁目、鳥飼八町2丁目、鳥飼新町1丁目、鳥飼新町2丁目、鳥飼中2丁目、鳥飼中3丁目を指します。</u>	有	
P1	第1章 1 鳥飼まちづくりグランドデザイン策定の背景と目的	・科学的に住みやすいまちづくりを示してください。	民間事業者において、さまざまな指標を用いて、自治体の住みやすさ等のランキングを公表しております。これらの自治体間の比較も参考の一つになるかもしれませんが、「住みやすさ」はそこに住む市民の考えなども関係すると考えます。このような視点も踏まえた上で、本グランドデザインは子や孫の世代の将来を見据えたまちづくりの方向性を示すものであり、今後設置される地域住民の皆様との意見交換等の場において、「住みやすさ」についても地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。	無	
		・まちづくりを検討する上で、他国の事情を知る社会学者の意見も聞くべき。	鳥飼まちづくりグランドデザインの検討にあたっては、防災、都市計画、まちづくりに関する学識経験者、各種団体、公募市民からなる「鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会」を設置し、ご意見をいただいております。 当該委員会での議論の状況については、以下に公開しております。 <a href="https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/shichoukouhitsu/seisakuisshinka/torikaimachizukuri/sinngikai/index.html">https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/shichoukouhitsu/seisakuisshinka/torikaimachizukuri/sinngikai/index.html</a>	無	
		・カテゴリー別に近隣他市と摂津市の比較データを公開してください。	鳥飼まちづくりグランドデザインの検討における他団体との比較については、主に公益社団法人大阪府市町村振興協会が作成している「市町村ハンドブック データ集」を参考にしました。 <a href="http://www.masse.or.jp/sityousonhannndobukku/separate/index.html">http://www.masse.or.jp/sityousonhannndobukku/separate/index.html</a> また、コミュニティ施策に係る周辺自治体の比較資料については、第3回鳥飼まちづくりグランドデザイン策定委員会の資料3及び参考資料2をご参照願います。 <a href="https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/shichoukouhitsu/seisakuisshinka/torikaimachizukuri/sinngikai/17792.html">https://www.city.settsu.osaka.jp/soshiki/shichoukouhitsu/seisakuisshinka/torikaimachizukuri/sinngikai/17792.html</a>	無	
P2～P3	第1章 2 鳥飼地域の特徴	(1) 歴史・沿革	・江戸時代前の地名、俗名を復活させ、摂津歴史街道を整備する。 ・高槻市、枚方市、守口市、寝屋川市と協力して淀川と各種歴史遺産のハイキングコース、自転車コース等を整備する。	住民を含むまちづくり関係者に鳥飼地域固有の歴史・文化の一端をご理解いただくため、P2から鳥飼地域の歴史・沿革の概要を記載しました。地域の歴史や文化の理解が進むことで、その地域への愛着や誇りが醸成され、鳥飼まちづくりグランドデザインの具体化が早期に進捗されるものと期待しております。 いただいたご意見については、本グランドデザインの具体化に向けて設置される地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。	無
P10～P15	第1章 3 グランドデザインの検討に当たり踏まえる視点	・「踏まえる視点」としてあげられている「地球温暖化対策」はシェアサイクル導入・自転車通行空間整備など、「新型コロナ」はマルシェ・オープンカフェなどの屋外空間の積極的な利用などとして、視点を反映して取組の方向性を設定しているという理解で良いでしょうか。 ・「Society5.0とDX」はどの取組の方向性に反映されているのでしょうか。 ・「踏まえる視点」で頁を割いた割に、それがどう反映されているかが分かり難いので、どのように計画・方針に反映していくかを前段で示した方が、後段に方針、イメージ図を見て理解できるのではないかと。	「踏まえる視点」とは、鳥飼まちづくりグランドデザインを検討する上で必要と考える摂津市の施策、社会的潮流を取りまとめた視点として記載しています。 「地球温暖化対策」や「新型コロナ」の視点を踏まえた対策としては、ご指摘のような対策も想定しているところです。 一方、「Society5.0とDX」については、まちづくりの検討手法としてデジタルツインを利用したり、最新技術を活用したまちづくりを検討したりと、日進月歩で進化している分野であるため、方向性を示した現時点において、具体的な対策として記載することは困難と考えています。 どちらにしても、今後本グランドデザインの具体化に向けて設置される地域住民の皆様との意見交換等の場において、今回お示しさせていただいた視点を踏まえ、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。	無	

P 23～P 68	第2章 2 まちづくりの 方針		<ul style="list-style-type: none"> <li>・「短期」「中期」「長期」それぞれの時期がどのくらいか示されていないければ、市民はイメージできないのではないか。</li> <li>・「短期～長期」とは、計画期間（計画期間自体が分かりませんが）の「前期～後期」ということでしょうか。もし、短期＝短い期間、長期＝長い期間という意図で用いられているのであれば、「短期～長期」はどう解釈すればよいでしょうか。</li> </ul>	<p>今後グランドデザインの具体化を検討していく中で、具体的な取組内容が決まっていくものと考えており、現時点で短期・中期・長期のそれぞれに明確な時期等を示すことが困難と考えております。</p> <p>ただし、短期については、すぐにでも取り組みたいと考えている取組、中期については、実施するための調整等を含め実際に開始するまでにある程度時間を要すると考えられるもの、長期については、事業開始をするためには事前の検討から始まり、住民の皆様との意見交換の実施等で相当の時間を要すると考えられるもの、という想定で記載しました。</p> <p>また、短期～長期は、段階的に取組む必要があるもの、完成するまでに相当の時間を要するため早期の着手が必要なものなどを想定して使用しています。</p>	無
P 23～P 28	第2章 2 まちづくりの 方針	① 人ともものが集まる賑わい（核）エリア	<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼基地を一望できる高台遊歩道を基地の西側入り口辺りに設置すると、子供たちは大喜びだと思う。モノレール下にぶら下がるような遊歩道なら最高！！</li> </ul>	<p>東海道新幹線鳥飼車両基地を一望できる高台遊歩道の設置に関しては東海旅客鉄道株式会社と、大阪モノレール下への遊歩道設置に関しては大阪モノレール株式会社等と協議が必要となります。</p> <p>いただいたご意見につきましては、鳥飼まちづくりグランドデザインが正式に策定された後に設置する、本グランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無
P 25	第2章 2 まちづくりの 方針	図2-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図2-2で突出した高層マンションが描かれているが、市ではそのようなイメージの都市・景観づくりを推奨するのか。</li> </ul>	<p>南摂津駅を中心としたこのエリアは、現時点では洪水時に非難できる高台が非常に少ないことが課題となっており、駅近という立地条件を考慮すると居住空間と高台化した避難空間を両立できる高層マンションも可能ではないかと考えてイメージ化したものです。</p> <p>このエリアの将来の姿については、鳥飼まちづくりグランドデザインが正式に策定された後に設置する、本グランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無
P 29～P 35	第2章 2 まちづくりの 方針	② 居住性向上エリア【Aエリア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・淀川河川公園について、1）有料バーベキュー場所の整備、ローラースケート場の拡大及び有料化（小学生は無料）、釣り公園としての整備、駐車場の土日有料化（摂津市民は半額等の優遇措置）を行い、有償部分はゴミ処理等の人件費とする、2）子どもが安心して遊べる場所をつくる、3）摂津市にできるだけ移管し、ネーミングライツなどで整備資金を確保すべき。</li> <li>・モノレール南摂津駅近くの淀川河川敷に手ぶらで来て飲食物を現地調達できるようなバーベキュー村の誘致</li> <li>・淀川河川公園・淀川の堤防は、今でも十分すばらしい景色を楽しめます。ジョギングやウォーキングをしている人もたくさんいます。すれ違う人と気持ちの良い挨拶を交わせることもこの地区の良さです。たくさん鳥の声が聞こえます（ニワトリも元気に鳴いています）。人と生物が自然体で共生できるエリアです。できるだけ今の自然を活かして良さをPRしてほしいです。</li> <li>・河川防災ステーションの土中に、地震時等で避難生活ができるシェルターや駐車場を設置</li> </ul>	<p>淀川河川公園は、国土交通省淀川河川事務所が整備、管理運営を行っており、利用に関しては国土交通省と協議し、占用許可を受けること等が必要となります。</p> <p>淀川河川公園の利用については、今後、鳥飼まちづくりグランドデザインが正式に策定された後に設置される、本グランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無
				<p>市では、これまで市勢要覧や広報誌、プロモーション動画にて、淀川河川公園や淀川堤防を含む鳥飼地域の魅力についてPRしてまいりました。</p> <p>今後も引き続き、鳥飼地域の地域資源を発掘し、その良さをPRしていくよう努めてまいります。</p>	無
				<p>河川防災ステーションで使用する盛り土は、堤防復旧時の材料として備蓄されるものです。河川防災ステーションは国の事業として整備されますので、いただいたご意見については、国とも情報共有させていただきながら、実現の可否等について検討を進めてまいります。</p>	無
P 43～P 47	第2章 2 まちづくりの 方針	② 居住性向上エリア【Cエリア】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新在家1丁目の旧村私設集会所については、堤防の高台を活かしたビルを建設し、平常時には近隣の集会所、文化活動場所として活用し、洪水、地震時の緊急避難場所として活用</li> </ul>	<p>いただいたご意見については、鳥飼まちづくりグランドデザインが正式に策定された後に設置される、本グランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無

<p>P 58</p>	<p>第2章 2 まちづくりの方針</p>	<p>④ 田園（農業とのふれあい）エリア</p>	<p>・鳥飼八町地区の農業従事者の高齢化、後継者不足など、農業を継続していくための課題と対応について記述すべき。</p>	<p>鳥飼八町地区の農業の現状として高齢化と後継者不足が進んでいることは、これまで2度のアンケートを通じて把握しております。</p> <p>令和2年より、新たな農地の貸し借りの方法「農地中間管理事業」が鳥飼八町の農地にも適用されました。市としては、高齢化や後継者等の問題に対して、この新たな担い手に農地を借りていただく事業の活用などを通じて、解決策を住民の方々と一緒に議論してまいりたいと考えております。</p> <p>また、次世代の子どもたちに鳥飼八町地区の付加価値の高い貴重な農空間を残すため、作り手が将来にわたって農業継続できる農地の集積・集約化に取り組んでいくことも肝要であるとと考えております。</p> <p>いただいたご意見を踏まえ、P 58「現状と課題」及びP 59, 60「課題解決に向けた取組の方向性」について、以下のように修正します。</p> <p>P 58「現状と課題」4、6段落目（下線部を追記） （4段落目） ～また、このエリアにある農地では、<u>農業者の高齢化や後継者不足などの課題はあるものの、代掻き前の水田にレンゲソウを植栽するなど、春先における景観形成に取り組む農業者も一部見られますが、エリア一体となった農閑期を含めた水田の活用方法などについて検討を進めていく必要があります。</u>～ （6段落目） <u>農業の担い手の確保、持続可能な農業、防災や地域福祉などの様々な生活課題を解決するために必要な、地域のつながりを確保する場や組織の強化等が必要です。</u></p> <p>P 59, 60「課題解決に向けた取組の方向性」（6） （6）改めて「農」の価値を見出し、魅力を発信し、都市近郊の農業としての発展における公的支援の可能性について検討します ＜取組イメージ＞ ◎「地域資源を活かしたにぎわい・魅力あふれる環境づくり」 ・<u>農地中間管理事業の活用による農業者の確保【短期～長期】</u> ・<u>付加価値の高い貴重な農空間を残すため、農業を継続できる農地の集積・集約化【中期～長期】</u> ・様々な機会を活用した情報発信【短期】 ・体験型市民農園などの提供【短期～中期】 ・農業を指導する人材育成【短期～長期】</p>	<p>有</p>
<p>P 61～P 62</p>	<p>2章 3 エリア全体にかかる取組の方向性</p>	<p>魅力ある教育環境</p>	<p>・近隣の北摂の市に比べ学力が低い摂津市。その中でも特に学力が低いであろう鳥飼地域。教育に関する案が具体的でなく、このままだと何もされないのではないかと不安です。</p> <p>・曖昧な【社会変化に適応した教育の充実】などといった目標ではなく、全国学力・学習状況調査で他の北摂の市と並ぶような結果を出せるように【明確な学力向上】のための目標を掲げて頂きたいです。</p> <p>・少人数教育が可能な環境なので、秋田県東成瀬村や福井県などの少人数教育を参考に、特色を出し、それを大きく宣伝してほしい。</p> <p>・摂津市のふたつの図書館は力を入れてなさすぎます。暗い館内の鳥飼図書センターも明るく最新式の誰もが来たくなる図書館へ立て替えて併設し、文化的発展を目指すのはどうか。</p>	<p>・本市の全国学力・学習状況調査の結果や授業改善を中心とした学力向上の取組については、広報せつつ（令和4年1月号）で詳しく紹介していますので、以下のURLをご参照願います。 <a href="https://www.city.settsu.osaka.jp/material/files/group/1/kouhou_settsu_22-1_feature1.pdf">https://www.city.settsu.osaka.jp/material/files/group/1/kouhou_settsu_22-1_feature1.pdf</a></p> <p>また、学力についての目標につきましては、「摂津市教育推進プラン」の中で設定していますので、以下のURLをご参照願います。 <a href="https://www.city.settsu.osaka.jp/material/files/group/71/R3suishinpuran.pdf">https://www.city.settsu.osaka.jp/material/files/group/71/R3suishinpuran.pdf</a></p> <p>小規模校化には、メリット、デメリットがあると認識しております。児童・生徒にとっては、中心となって活動する機会を得やすく、教員にとっては一人一人きめ細かい指導をしやすというメリットがございますが、児童・生徒の人間関係の固定化や切磋琢磨できる機会の減少、教員数減少に伴う学校機能の低下等のデメリットがあります。そのことから、今年度、適正規模・適正配置等について、附属機関を設置し、検討していくこととしています。</p> <p>市内2か所の図書館では、Wi-fiと電子図書を導入しております。今後も調べ学習を促進し、図書館の利便性向上を図り多様な学習機会の充実と学び続ける機会を創出していくこととしています。</p> <p>いただいたご意見については、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される、本ランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	<p>無</p> <p>無</p> <p>無</p>

P 63～65	2章 3 エリア全体にかかる取組の方向性	利用しやすい公共交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通アクセスの不便さは、働く世帯や子育て世帯が鳥飼地区から流出する大きな要因の一つだと思います。</li> </ul>	<p>鳥飼まちづくりランドデザイン策定委員会においても、交通アクセスの不便さと鳥飼地区からの人口流出に関する議論を行いました。</p> <p>しかし、鳥飼地域の交通問題は、摂津市のみの施策、エリアごとの個別対策では解決することは難しいため、今後、将来を取り巻く交通環境も想定し、目指すべき交通のあり方等の検討を進めることを予定しており、交通事業者をはじめとした関係者が一堂に会する地域公共交通会議等を設置し、関係住民の皆様のご理解を得ながら、引き続き検討を進めていくこととしました。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝晩の通勤時間帯の大阪高槻線の渋滞鳥飼のバス停から東一津屋の交差点を抜けるまでに40～50分かかるともザラにあります。</li> <li>通勤時間帯の渋滞緩和のためにセッピー号の有効活用。通勤時間帯に阪急・近鉄・京阪バスとは別ルートで南摂津駅、市役所、阪急摂津市駅、千里丘駅への運行を検討してほしい。</li> <li>雨の日は自家用車にならざるを得ず、ますます渋滞が激しくなる。</li> </ul>	<p>府道大阪高槻線の管理者である大阪府において、渋滞要因を分析の上、交差点改良の必要性等を含め、効果的で実現可能な検討を進めていると聞いております。今後も引き続き、大阪府及び摂津警察と協力しながら、円滑な交通が確保できるように努めてまいります。</p> <p>いただいたご意見については、大阪府や関係機関にもお伝えするとともに、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される、本ランドデザインの具体化に向けた地域住民の皆様との意見交換等の場において、関係する情報の共有化を図ってまいります。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>バス停から南摂津駅まで雨に濡れない構造にいて欲しい。</li> <li>南摂津駅の利用者の増加のため、駅前の駐輪場の拡充と無料化する通勤補助金の支給。</li> </ul>	<p>いただいたご意見は、今後、南摂津駅前ロータリーの機能を強化に向けて検討していく中で、参考とさせていただきます。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の阪急バスが南摂津駅まで乗り入れられておらず不便。</li> <li>バスを有効利用すべき。小型バス化して運賃を下げ、定時運行できるよう専用車線を整備すべき。</li> </ul>	<p>いただいたご意見は、今後設置される交通事業者をはじめとした関係者が一堂に会する地域公共交通会議等において、目指すべき交通のあり方等を検討していく中で、参考とさせていただきます。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>渋滞緩和や、非常時の広域避難、物資輸送等を容易にするため、鳥飼仁和寺大橋から鳥飼大橋まで堤防上部を自動車が行きできるようにしてほしい。</li> </ul>	<p>堤防は国が管理しているため、市が堤防の機能を損なわないようにしたうえで道路整備を行う場合は、国と十分な協議を行う必要があります。</p> <p>財源の問題や付近の土地の買収など実施するためには多くの課題がありますが、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される地域住民の皆様との意見交換等の場において、いただいたご意見についても地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>「新幹線基地駅」を作って、新大阪駅迄行けるようになると良い</li> </ul>	<p>新幹線基地から乗車については、昭和60年2月に市議会と行政の連名で、当時の国鉄新幹線総局に対し、「新幹線への市民乗車の早期実現について」として要望してきた経緯がございます。国鉄分割民営化後においても協議は継続してまいりましたが、採算性の問題や、既に過密になっているJR新大阪駅のダイヤ編成上の問題、さらに、基地内で駅舎を設置した場合に利用する住民等の出入りが基地内の施設や車両運行に係る保安上の問題があるとして、平成6年、東海旅客鉄道株式会社から、本件に関し、一切考えられないといった内容の見解が示されました。</p> <p>平成6年から20年以上経過していることから、改めて令和3年度に東海旅客鉄道株式会社と協議しましたが、ダイヤ編成上の問題や保安上の措置などの東海旅客鉄道株式会社を取り巻く状況は、平成6年当時よりもさらに悪化しており、その実現は非常に難しいとの認識が示されました。</p> <p>以上の経緯を鑑みると、実現のためには、乗り越えるべき壁が多く、実現は非常に難しいと認識しております。</p>	無
P 66	2章 3 エリア全体にかかる取組の方向性	地域コミュニティ活動の活性化	<ul style="list-style-type: none"> <li>部外者は自治会は近寄りづらい、入りづらい存在と感じている、一方で自治会に入っている人たちに地域の仕事を背負わせている今の在り方はもったいないです。</li> <li>自治会の活動が部外者には分かりません。昔ながらのつながりとコミュニティ手段としての自治会が存在するならば、そのノウハウを活かし子育て世帯の繋がりや若い世帯の交流、世代を超えた交流、地区を超えた交流ができる存在として機能できたら良いと思います。</li> </ul>	<p>現在も広報誌をはじめ、様々な機会をとらえて、自治会の加入や自治会の活動を周知していますが、SNSを活用するなどさらなる周知に向けて努めてまいります。</p> <p>また、自治会の役員のみならず自治会加入率の減少について危機感を持たれ、令和3年度に「自治会・町会の活性化策」として具体的な施策等を検討されており、活性化に向けて積極的に支援してまいります。</p>	無

P67	2章 3 エリア全体にかか る取組の方向性	魅力ある公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今の鳥飼地域の公園は遊具も少なく、荒れたまま放置され森のように生い茂った樹と雑草だらけで自転車の練習もままならない。蚊だらけで一分で五か所以上蚊に刺され、公園が大好きな幼稚園児ですら「もう帰る」と言い出す始末。</li> </ul>	<p>市の所管する公園については、定期的に樹木の剪定作業、除草清掃作業を行っております。また、公園遊具については、まずは経年劣化による事故防止のための措置として年1回専門家による遊具の総点検を行い、点検結果に基づき順次修繕を行っているところです。修繕の際に新たな遊具への取替えも行っております。</p> <p>また、毎月1回すべての公園を巡回しており、その際に簡易的な除草作業を行っております。今後とも公園の適正な維持管理に努めてまいります。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・大きな敷地を使い駐車場も併設し、大型遊具ゾーンと健康器具ゾーンを備えた子どもにもお年寄りにも優しく、みんなが集い交流し、近隣の市からもお客さんがやってくるような明るく人気の出そうな公園をぜひ作ってください。</li> </ul>	<p>公園は、摂津市緑の基本計画で示しているように、子どもの遊び場のみならず、多目的の利用を想定した多機能化に向けて整備をしていくこととしています。</p> <p>公園の多機能化については、その具体的な必要機能について、今後、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される、地域住民の皆様との意見交換等の場において、地域住民の皆様と一緒に議論させていただきたいと考えております。</p>	無
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・既存公園に【超高齢社会に対応した健康器具の設置】の項目があるのに【子どもが喜び心技体を発達させるような大型遊具の設置】がないのが疑問です。</li> <li>・新幹線公園について、駐車場を整備し、四季折々を感じる場所、ハイキングができ、子どもとお弁当を広げ遊べる場所にすべき。</li> </ul>		
P69～P70	第3章 1 ランドデザインを実現するための進め方等	(1) グランドデザインの具現化に向けた工程	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このランドデザインは、目標年次はいつ頃を想定され、各エリアの将来イメージはいつ頃をイメージして描かれているのでしょうか。70頁の「進捗管理・検証」に、概ね10年で見直しを行うとあるので、10年後でしょうか。</li> </ul>	<p>目標年次は明確に記載していませんが、「子や孫の世代を見据えて」という将来を想定して、鳥飼まちづくりランドデザイン（案）は策定されました。</p> <p>「進捗管理・検証」にある概ね10年は、本ランドデザインの見直しの時期を定めたものです。ただし、今後の社会情勢の大きな変化やまちづくりに関係する法令等の大幅な改正、各分野計画で構成する摂津市行政経営戦略の改訂等に併せて、10年以内であっても適宜必要な見直しを行います。</p>	無

【鳥飼地区全体にかかるご意見】

		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼は好きですが、非常に魅力が少ない。</li> </ul>	<p>鳥飼地域には、淀川や河川公園、田畑、水路、事業所群や大阪銘木団地、大阪モノレール南摂津駅等、多様な地域資源が点在していると考えています。これらの地域資源に磨きをかけ、地域資源を活かしたにぎわいづくり、魅力ある環境づくりを目指してまいります。</p>	無
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・全世代の摂津市民が他市に比べて住みやすいまちづくりにすればよい。</li> </ul>	<p>いただいたご意見につきましては、今後、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される、地域住民の皆様との意見交換等の場において、将来の姿を地域住民の皆様と一緒に議論させていただく中で、参考とさせていただきます。</p>	無
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外国人が出来るだけ早く住み慣れる、住宅をはじめとする生活環境の整備</li> </ul>	<p>外国人市民が住み慣れる生活環境の整備については、摂津市国際交流協会の外国人市民サポート事業等で外国人市民相談窓口や日本語教室を開催しております。さらに、在留資格等の相談に関しては、大阪府国際交流財団とも連携し、対応しております。</p> <p>また、市ホームページの言語変換機能で情報収集を簡易にし、窓口相談時には、外国語版のパンフレットや翻訳アプリや電子端末を使い対応しております。</p> <p>今後も、摂津市在住の外国人市民が生活し地域の一員として交流を深めていけるよう多文化共生社会の実現に向け、取り組んでまいります。</p>	無
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼地域の公民館、集会所の建替えは、同所での建替えを希望。</li> </ul>	<p>摂津市公共施設等総合管理計画に記載している方針に基づき、公民館は老朽化に伴う建替え等の機会を捉え、複合化・集約化・多機能に資する公共施設としての整備を検討することとしております。</p> <p>同じく、集会所については、現状の利用状況や今後の人口動態などを踏まえ、建替えの必要が生じた際には、周辺施設との関連性も考慮しつつ、地域のニーズに即した集会所機能の今後のあり方を検討してまいります。</p>	無
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼地区には大きい公共施設がない。防災機能付きの総合体育館等の設置</li> </ul>	<p>いただいたご意見につきましては、今後、鳥飼まちづくりランドデザインが正式に策定された後に設置される、地域住民の皆様との意見交換等の場において、将来の姿を地域住民の皆様と一緒に議論させていただく中で、参考とさせていただきます。</p>	無
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボルダリング、スケートボードなどの若者向きスポーツの公式練習場の誘致</li> </ul>		
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・鳥飼地区はおおらかな空気で住環境が良く、古くからの住民のみなさんが中心となって挨拶や声掛けなど、子どもたちの見守り体制が自然と形成されている。</li> <li>・最近新しい家やマンションも増え、夕方には子どもたちが遊ぶ声が響いて明るい雰囲気になっている。</li> <li>・子どもたちが元気いっぱい遊びのびと遊んでいる街であること、朝早くから頑張って働く人達が支えている街であること、きれいな朝日や夕日が見れる場所であることなど、良いところがたくさんあります。開発・発展も良いですが、いま鳥飼に住んでいる人の日々の「暮らし」「生活」に着目した施策がなされることを願っています。どんな人にとっても暮らしやすい、根を張りやすい鳥飼になることを期待します！！</li> </ul>	<p>鳥飼地域に対するご意見をありがとうございます。今後、ランドデザインを具体化していく際に、参考とさせていただきます。</p>	無